

朝の小樽運河



伊藤千代子獄中最後の手紙を見る会 & 多喜二・野呂を訪ねる北海道ツアー

(2020.10.24~26)



多喜二が勤務し旧拓銀小樽支店



会見をおこなう(左から)入谷寿一 苫小牧実行委員長 桂壮三郎 映画総監督 宮負秀夫 脚本・演出家 藤田廣登 国陪同盟理事

苫小牧中央図書館開催された「獄中最後の手紙を見る会」。手紙に直に接し、伊藤千代子の生き方に想いを寄せ、活動への決意を固めました。



没後40年を記念し生地長沼町に建立された野呂栄太郎碑。右の写真は母校の長沼第一小学校に市が建立した「野呂栄太郎学童の像」。



1930年、多喜二が小林家の墓を建てるよう原稿料収入から500円を小樽の母に送って建立。墓石の背面には「昭和五年六月二日小林多喜二建之」とある。



小林多喜二文学碑



水天宮：多喜二が田口タキとデートしたとされる場所。



小林多喜二のデスマスク(図書館に所蔵され、木箱中のデスマスクを公開していただきました)